

目次

中学 歴史Ⅱ

学習内容	ページ	
	本書	教科書
◆ 応仁の乱と室町文化*	2	[東書] 90~93 [帝国] 94,96~101 [教出] 84~87 [日文] 94~99 [育鵬] 88~89,92~93 [山川] 94~99
1 世界との出会い	2	[東書] 76~77,100~105 [帝国] 106~113 [教出] 98~107 [日文] 108~112 [育鵬] 100~107 [山川] 104~113
2 全国統一	4	[東書] 106~111 [帝国] 116~123 [教出] 108~113 [日文] 113~119 [育鵬] 108~113 [山川] 114~119
3 江戸幕府の成立と鎖国	6	[東書] 112~123 [帝国] 124~137 [教出] 114~125 [日文] 122~133 [育鵬] 114~121 [山川] 120~127
4 江戸時代の産業と元禄文化	8	[東書] 124~129 [帝国] 137~145 [教出] 126~129 [日文] 134~141 [育鵬] 122~129 [山川] 128~136
5 幕政の改革と化政文化	10	[東書] 130~137 [帝国] 146~153,176~179 [教出] 130~137 [日文] 142~149,168~169 [育鵬] 130~143 [山川] 136~147
6 欧米諸国の近代革命	12	[東書] 146~157 [帝国] 162~177 [教出] 146~157 [日文] 158~167 [育鵬] 154~163 [山川] 156~165
7 開国と江戸幕府の滅亡	14	[東書] 158~163 [帝国] 180~183 [教出] 158~163 [日文] 170~173 [育鵬] 164~170 [山川] 166~171
8 明治維新	16	[東書] 166~173 [帝国] 186~195 [教出] 166~173 [日文] 176~185 [育鵬] 170~181 [山川] 172~183
9 立憲制国家の成立	18	[東書] 174~181 [帝国] 195~203 [教出] 174~183 [日文] 186~187,190~195 [育鵬] 176~179,182~185 [山川] 183~189

学習内容	ページ	
	本書	教科書
10 日清・日露戦争	20	[東書] 184~189 [帝国] 206~212 [教出] 184~191 [日文] 196~201 [育鵬] 186~191 [山川] 190~197
11 東アジア情勢と近代産業の発達	22	[東書] 190~195 [帝国] 212~223 [教出] 192~199 [日文] 201~208 [育鵬] 192~195,198~199 [山川] 198~209
12 第一次世界大戦とアジア	24	[東書] 204~211 [帝国] 228~235 [教出] 208~217 [日文] 218~225 [育鵬] 208~213,218~219 [山川] 214~221
13 大正デモクラシーと新しい文化	26	[東書] 212~219 [帝国] 238~245 [教出] 210~211,218~223 [日文] 226~235 [育鵬] 214~217,220~221 [山川] 222~231
14 世界恐慌と日中戦争	28	[東書] 220~229 [帝国] 252~259,265 [教出] 226~235 [日文] 236~243 [育鵬] 224~231 [山川] 232~241
15 第二次世界大戦とアジア	30	[東書] 230~237 [帝国] 262~271 [教出] 238~245 [日文] 244~251 [育鵬] 232~241 [山川] 242~249
16 日本の民主化と独立	32	[東書] 246~253 [帝国] 278~285 [教出] 245,254~261 [日文] 262~272 [育鵬] 248~255 [山川] 249,256~265
17 日本の発展と国際社会	34	[東書] 254~259 [帝国] 285~292,294~297 [教出] 259~271 [日文] 272~279 [育鵬] 253~263 [山川] 263,266~274
18 これからの日本と世界	36	[東書] 260~265 [帝国] 291~293,298~303 [教出] 274~281 [日文] 278~285 [育鵬] 266~271 [山川] 274~281

応仁の乱と室町文化

1 応仁の乱

(1) 応仁の乱

- ① 6代将軍足利義教の暗殺→守護大名間の勢力争いがおこる。
- ② 8代将軍¹ []のとき、将軍のあとつぎ問題で、有力な守護大名の² [A] 氏と³ [B] 氏が対立する。
- ③ ⁴ []…1467（応仁元）年に、11年にわたる戦乱が始まる。
・東軍（A方）、西軍（B方）に分かれて、京都から全国に広がる。

年代	できごと
1397年	足利義満が金閣をつくる。
1467年	応仁の乱がおこる。
1485年	山城の国一揆がおこる。
1488年	加賀国で一向一揆がおこる。
1489年	足利義政が銀閣をつくる。

◆ [4] 開始時の対立関係

	西軍(B方)	東軍(A方)
将軍のあとつぎ問題	日野富子 ↓ 足利義尚	足利義政 (義子) ↓ 足利義視
守護大名の対立	山名持豊(宗全) (元侍所長官)	細川勝元 (管領)

(2) 各地でおこる一揆

- ① ⁵ []…山城（京都府）南部で、武士と農民が守護大名を追いはいり自治を行う。
- ② ⁶ []…浄土真宗（一向宗）の信仰で結び付いた武士や農民が各地で一揆をおこす。
- ③ ⁷ []（石川県）では、守護大名をたおし、約100年間自治を行う。

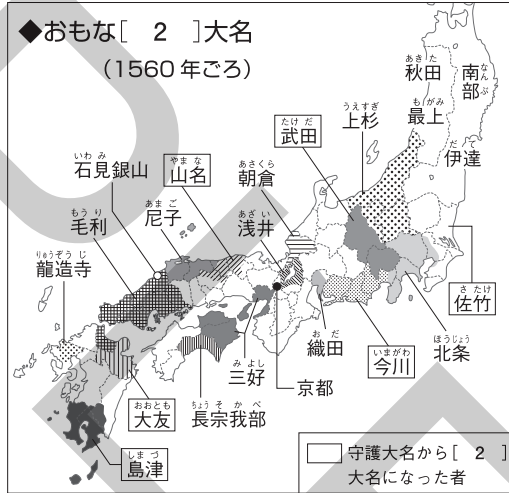
2 戦国大名の登場と城下町

(1) 戦国大名の登場

- ① 将軍→応仁の乱後、京都を中心とするわずかな地域のみに支配。天皇や貴族、寺社の領地は各地の武士にうばわれる。
- ② 実力のある者が、力をのばして上の身分の者に打ち勝つ¹ []の風潮が応仁の乱のころから広がる。
- ③ 守護大名の地位をうばって実権をにぎった者、守護大名が成長した者が各地に登場。² []大名と呼ばれる。
- ④ ³ []時代…応仁の乱以降をいう。

(2) 城下町…戦国大名が領国につくる。

- ① 城…山に築いていた城を、交通の便のよい平地に築く。
- ② 城の周辺に家来を集め、商工業者を呼び寄せて⁴ []をつくる。
- ③ ⁵ []…領国を統一して支配するため、独自の法を定め、武士や民衆の行動を取りしめる。荘園領主の支配を認めない。
- ④ 大規模な用水路の建設。鉱山の開発。交通路の整備。座を廃止し商工業を保護。→領国を豊かにする。



◆おもな [2] 大名 (1560年ごろ)

● [5] の例 (部分要約)

朝倉氏
 一 本拠である朝倉館のほか、国内に城を構えてはならない。すべての有力な家臣は、一乗谷に引越し、村には代官を置くようにしなさい。(朝倉孝景条々)

武田氏
 一 けんかをした者は、いかなる理由による者でも処罰する。
 一 許可を得ないで他国へおくり物や手紙を送ることは一切禁止する。(甲州法度之次第)

- ⑤ 銀の生産量の増加…⁶] 銀山（島根県）では戦国大名の保護のもと博多の商人が開発。精錬技術の改良で銀の生産量が増加し、中国に輸出。精錬技術は⁷] 金山（新潟県）などにもたらされた。→戦国大名は、金貨や銀貨をつくるようになる。

3 室町時代に広がった文化

(1) 室町文化…貴族（公家）の文化と武士の文化が融合した室町文化。

- ① 南北朝時代…大陸からの文化の影響を受ける。
 ② ¹]…鎌倉時代に栄西が宋からもたらした茶を飲む習慣。→茶の産地を当てる会などが流行。
 ③ 貴族や武士、僧の集まる会では、華麗な花や豪華な食事。
 ④ ²]…人々が集まって和歌の上の句と下の句を次々によむ。
 ⑤ 猿楽や田楽…幕府の保護を受け、³]・世阿弥親子が能として大成する。

◆現代の能



(2) 仏教の進展

- ① 浄土真宗…北陸や近畿地方の武士や農民に広まる。
 ② 日蓮宗…京都や堺の商工業者に広まる。
 ③ 禅宗…京都と鎌倉の五山と呼ばれる主要寺院を中心に幕府の保護を受ける。→禅宗の僧が文芸や外交、貿易に活躍。

(3) 北山文化

- ① ⁴]…足利義満が京都の北山に建てる。
 ② ⁵]文化…義満の時期の文化。

(4) 東山文化…15世紀後半以降。武士をにない手とする簡素で気品のある文化。

- ① ⁶]…寺院の部屋の様式を武士の住居に取り入れる。たたみをしき、床の間や違い棚を設け、襖で仕切り書画や生け花をかざる。
 ② ⁷]…墨一色で自然などを表現する。
 ・⁸]…明にわたって絵画技法を学び、帰国後、日本で水墨画を大成する。
 ③ 石や木をたくみに配置した庭園…⁹]と呼ばれていた人々による。龍安寺（京都市）の石庭など、水を使わずに山水などの自然を表現する庭園を枯山水という。禅宗の寺院に多く見られる。
 ④ ¹⁰]…足利義政が京都の東山に建てる。
 ・¹¹]…¹⁰]と同じ敷地にあり、足利義政の書斎であった。代表的な⁶]。
 ⑤ ¹²]文化…義政のころの文化。銀閣はこの時期の文化の特色をよく表している。

◆龍安寺の石庭



(5) 民衆への文化の広がり…民衆の経済的な成長。

- ① ¹³]…能の合間に演じられる。民衆の生活や感情をよく表している。
 ② 地方の武士や都市の有力者…寺で子どもに教育を受けさせる。
 ③ ¹⁴]…「一寸法師」、「浦島太郎」、「ものぐさ太郎」などの絵入りの物語。
 ④ ¹⁵]学校（栃木県）…守護大名の上杉氏が保護。日本国内から人材が集まり、儒学を学ぶ。→さまざまな情報を交換。→知識を各地に伝える。

1 世界との出会い

1 キリスト教世界とイスラム世界

(1) 中世ヨーロッパのキリスト教

- ① 正教会…ビザンツ帝国(東ローマ帝国)と結び付く。
- ② [¹]教会…ローマ教皇(法王)を中心に、西ヨーロッパ諸国の王や貴族と結び付き、勢力をのばす。

(2) イスラム世界と十字軍

- ① 7世紀にアラビア半島に成立した[²]の国家が東はペルシャ、西は北アフリカからイベリア半島まで支配。15世紀にはオスマン帝国がビザンツ帝国を征服、16世紀にはインドにムガル帝国が成立し、[²]世界が勢力を広げる。→[³]([²]の信者)商人は広く海上貿易を行い、アジアの物産をヨーロッパにもたらす。

- ② [⁴]…ローマ教皇の呼びかけで、西ヨーロッパ諸国の王や貴族がイスラム勢力にうばわれた聖地[⁵]の奪回をめざして、1096年に遠征を開始。→何度も派遣するも、聖地奪回は失敗。
- ③ イスラム世界からヨーロッパに、紙や火薬が伝わる。

(3) ルネサンス

- ① 東方との交流により、キリスト教以前の古代ギリシャ、ローマの文化を見直す[⁶](文芸復興)がおこる。14~16世紀にイタリアから西ヨーロッパ各地へ。
- ② 人間性を表現する美術…ミケランジェロ(「ダビデ」「最後の審判」)、[⁷](「モナリザ」)、[⁸](「春」)、ラファエロ(「アテネの学堂」)。

(4) 宗教改革

- ① ローマ教皇が、大聖堂改築のための財源を確保するため免罪符を売り出す。
- ② [⁹](ドイツ)やカルバン(スイス)が、ローマ教皇(カトリック教会)の方針を批判し、[¹⁰]改革を始める。
- ③ [¹¹](抗議する者)…カトリック教会に反対して改革を進めた。聖書に信仰の中心を置く。
- ④ [¹²]会…カトリック教会内部で立て直しをめざした。アジアやアメリカ大陸で布教を行う。

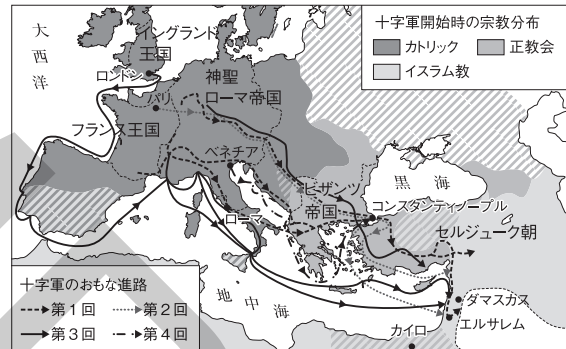
2 ヨーロッパと外の世界

(1) 大航海時代

- ① ルネサンス期に、羅針盤の実用化、航海術の進歩、世界地図の作成が進む。
- ② 大航海時代…調味料などとして使われるアジアの[¹]を、直接手に入れる。キリスト教を世界に広める。

年代	できごと
1492年	コロンブスがカリブ海の島に到達。
1498年	バスコ・ダ・ガマがインドに到達。この前後ルネサンスがさかになる。
1517年	ルターが宗教改革を始める。
1522年	マゼラン船隊が世界一周を達成する。
1533年	スペインがインカ帝国をほろぼす。
1534年	イエズス会が設立される。
1543年	ポルトガル人が鉄砲を伝える。
1549年	ザビエルがキリスト教を伝える。
1581年	オランダがスペインから独立する。
1582年	天正遣欧使節が出発する。
1600年	イギリスが東インド会社設立。
1602年	オランダが東インド会社設立。

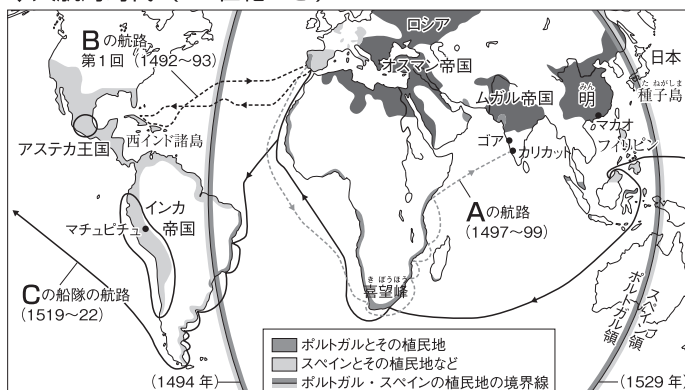
◆十字軍の遠征



(2) ポルトガルとスペインによる新航路の開拓

- ① [²A]…ポルトガル王の命で、アフリカ南端回りでインドへ到達。
- ② [³B]…スペインの援助でカリブ海(南北アメリカ大陸の間)の島に到達。
- ③ [⁴C]の船隊…スペインの援助で世界一周に成功。

◆大航海時代(16世紀ごろ)

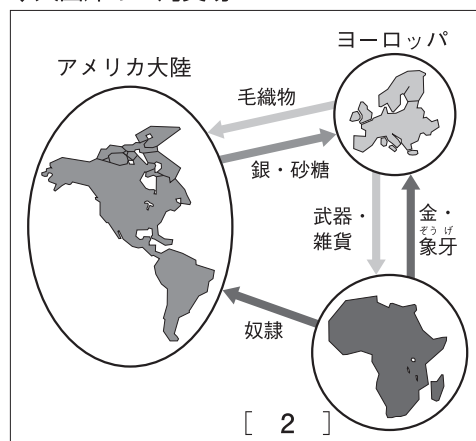


3 ヨーロッパの進出

(1) アメリカの植民地化

- ① コロンブスはカリブ海の島をインドの一部だと思っていた。→アメリカ大陸を発見したスペイン人は先住民の文明(インカ帝国・アステカ王国)を武力でほろぼし、[¹]とする。スペインやイギリスなど本国の人々が移り住み先住民を支配。
- ② 鉱山を開発して銀を採掘し、農園を開いてさとうきびから砂糖をつくる。→ヨーロッパに運ぶ。
- ③ 大西洋の三角貿易…労働力が不足するとヨーロッパ人は、[²]からアメリカ大陸に奴隷を送った。ヨーロッパから[2]には武器を輸出。

◆大西洋の三角貿易



(2) オランダの台頭

- ① スペイン…アメリカ大陸やアジアに植民地を広げ、「日のしずむことのない帝国」と呼ばれた。
- ② オランダ…プロテスタントが多い。カトリック国のスペインから独立。[³]会社を設立してアジアに進出し、ヨーロッパの中心となる。

4 ヨーロッパ人との出会い

(1) 鉄砲の伝来

- ① 鉄砲…1543年、[¹]人を乗せた中国の倭寇の船が[²](鹿児島県)に漂着し、鉄砲を伝える。
- ② 鉄砲は各地に広まり、[³](大阪府)、国友(滋賀県)などでつくられる。

(2) キリスト教の伝来と南蛮貿易

- ① [⁴]…イエズス会の宣教師。キリスト教を伝えるため来日、[⁵]に1549年に上陸。→[⁵]、平戸(長崎県)、山口、京都、豊後府内(大分県)などで布教。
- ② [⁶]貿易…[⁷](ポルトガル人やスペイン人)との貿易。中国産の生糸や絹織物を中心に、ヨーロッパの鉄砲、火薬、時計、ガラス製品などを輸入。おもに[⁸]を輸出。

(3) キリスト教の広まり

- ① [⁹]大名…貿易の利益に着目した九州の戦国大名がキリスト教徒(=[⁹])になる。
- ② 豊後の大友宗麟ら三人の大名(大友氏・大村氏・有馬氏)…ローマ教皇のもとに四人の少年使節である[¹⁰]を派遣。
- ③ 宣教師が各地に教会、学校、病院、孤児院を建設。→民衆に広まり、信者が30万人をこえる。